

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 11 月 30 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270102504		
法人名	有限会社 サナス		
事業所名	グループホーム 出島		
所在地	長崎市新地町 4-15 大久保ビル 5 階		
自己評価作成日	平成 23 年 11 月 8 日	評価結果市町受理日	平成 23 年 12 月 20 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-801 長崎県島原市高島 2 丁目 7217 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 23 年 11 月 30 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none">・ 利用者様主体を第一に御家族・職員・皆が支え合い、家庭的な雰囲気の中で、一人一人のペースで過ごし寄り添い、お互いに信頼関係を築き、安らぎの暮らしができるよう支援させて頂いています。職員は利用者様への尊敬の意と感謝の気持ちを忘れることなく、利用者様と「喜怒哀楽」を共にし、心の触れ合いを大切にしています。・ ビル内に医療連携医院が入っており、日頃からの健康管理と速やかな対応がとれる為利用者様、御家族の安心に繋がっています。その人らしい最後を迎えられるよう、看取りケアも取り組んでおります。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

<p>利用者の日常生活を家庭的環境(自宅部屋や空間をホーム内へ創造した)の中で「安心とやすらぎ」を持って、過ごせるように支援されている。終末期ケアが日常生活支援の最後の目標との視点に立ち、「心の個別ケア(精神的支援)」として、タクティールケア(指圧・さすり等)やバリデーション(15のテクニック項目)を実践され、利用者職員との信頼関係を構築する取り組みがなされている。また、利用者個人の性格、考え方や促しや誘導における注意点を一覧表としてまとめている利用者紹介表を活用し、職員間における接し方の差異を軽減する等、連携を図り、楽しい雰囲気や職員の仲が良くなることで、利用者への「安心・やすらぎ」を与えている。</p>

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	リビング、食堂に提示しご利用者・ご家族様にも見て頂ける様にしている。又、全職員は理念を理解した上で日々利用者様との関わりの中で常に心掛けている。	家庭的な環境づくりをモットーに、日常の過ごし方も利用者の自由気ままに任せている。利用者はレクリエーションもこれまでの趣味など好きなことに取り組み、職員は微笑ましく見守っている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中学生の職場体験学習や介護基礎研修の実習先として積極的に実習生を受け入れている。	商業地の真ん中に事業所があり、商店街組合に加入し、総会などの機会を捉えられ、グループホームの紹介を行うなど取り組んでいる。また、行事に合わせた家族会開催に当たりホテルの協力を得ている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会や民生委員の方との情報交換や交流を図れるよう努めている		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度定期的開催している。地域包括センター、市職員、ご家族代表、ご入居者様も参加しホームの活動報告、サービス利用状況、事故報告等行い情報意見交換を行っている。	自治会長はじめ、家族代表や利用者も参加され、各委員の方にはホーム内の状況や実態を見て頂くため、共用ホールを利用して会議を開催する等工夫がなされている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市職員の方に運営推進委員会に参加してもらい事業所の実情やケアサービスの取組み状況をつたえている。又、問題があれば相談し、協力関係を築くよう努めており介護相談の機会も設けている。	自治体職員が運営会議メンバーに加わり協力関係の強化が図られている。介護労働安定センターとの連携として「介護職員基礎研修実習」を長期受け入れし育成の支援をしている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束についての意識を全職員が持ち、拘束しないケアに取り組んでいる。防犯上必要時間帯を除き玄関の施錠せず対応している。</p>	<p>研修等で身体拘束の知識を職員全員が共有している。また、利用者が外に出たいような素振りが窺えた時は、階下のデーサービスへ連れて行くなど臨機応変な対応を心掛けている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会に参加し、職員会議の勉強会を通して、どのようなことが虐待にあてはまるかを理解し、虐待防止に努めている。又、言葉や態度など無意識に虐待を行っていないか職員同士確認し合っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在は必要と思われる方がいない為、活用はしてないが、今後学ぶ機会を設け必要に応じて支援できる体制を整えたい。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は十分な時間をかけて説明し理解して頂ける様努めている。利用料や、起こりうるリスク、重度化や看取りについての対応等も説明し同意を得るようにしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族には、面会時職員より声掛けして何でもいって貰えるような雰囲気作りに努めている。要望や意見等があった際には申し送りノートや会議で話し合いケアに取り入れている。</p>	<p>家族の面会頻度が非常に高いこともあり、要望や意向の把握がしやすい為、その都度対応するようにしている。また、申送り書に記録し全職員が共有できるよう取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃からコミュニケーションを図り、意見・提案を聞くように心掛けている。毎月の会議を通して職員の意見・要望を反映しやすくしている。</p>	<p>職員会議を毎月一回（20日）定期開催しており、開催前に職員からの意見、提案や問題点等を事前に提出させる等、会議における検討課題を把握し、実のある会議になっている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>休憩時間、業務改善の検討を行い環境整備を行っている。 又、職員の都合に合わせた勤務形態にし、職務の振り分けを行っている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修がある場合は、職員に伝えるなどして、参加をすすめている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に参加している。事例検討会等の勉強会を通じ交流を図り、質の向上に努めている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前に面接し、ご本人・ご家族に会い生活状況や心身の状況を把握し、思いや意向、不安な事を理解しご本人と話す機会を持ち信頼関係を築ける様努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談の際や、入居前にサービス導入に至る経緯現状を把握し、ご家族が求めているものを理解して事業所としてどう対応出来るかについて話をしている</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人又はご家族からの意見等に耳を傾け要望を聞きだせるよう努め、安心、信頼が得られるよう努めている。又、入居後もご家族の協力が必要であることをお話ししている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者の重度化や認知症の進行により介護量が増えていく中でも入居者様に、職員は励まされたり支えてもらいながら良い関係を築いている。個々に合った手作業を通じ自信を持って生活して頂ける様努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしの状況をお伝えし、時にご家族の協力を得ながら共に入居者様の生活を支えていくようにしている。又、ご家族も一緒に楽しめる誕生会や家族会に参加して頂き共に支えあっていく関係作りに努めている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人が大切にしている物や思い出のあるものは、ご家族と相談してある程度までは自由にしており、面会も居室でゆったりとすごせるよう配慮しながら、今までの関係が途切れないよう支援している。</p>	<p>これまでの自宅等での生活が継続できるように、また、希望に沿うように取り組んでおられ、利用者の思いを大切にしよう配慮されている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者の仲の善し悪しに配慮し孤立しないよう皆で楽しく過ごす時間を設けている。利用者の重度化、認知症に進行により他者との関係が難しくなっているが職員は利用者の感情変化に気を配り笑顔で対応しながら利用者との間に入り調整役となり支え合えるよう支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ご家族に対しては退所後も気軽に立ち寄って頂けるよう話をしていく。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の暮らしの中から発する言葉や表情から心情を察知出来る様努めている。又、職員はご利用者の視点に立って考え、希望や思いを汲み取ることが出来るよう努めている。</p>	<p>全職員が日常の話から要望等を汲み取るように努めている。また、自から要望等を伝えられない方には日常の状態からアセスメントを行い、細かな把握に心掛けている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご家族の面会時に生活歴やなじみの暮らし方、生活環境等を聞き、それを職員で共有し日々の介護に活かすよう努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>その日の入居者様の状態を把握しご本人のペースで行動して頂いている。細やかな見守りや目配りをし少しの変化にも気をつけるよう日常の中で確認している。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>基本3ヶ月ごとの見直しと毎日のモニタリングを実施、ご利用者やご家族には、日頃の関わりの中で要望や思いを聞きアセスメントし、入居者様の現状に沿ったプランを作成している。</p>	<p>利用者や家族の意向を入れた、介護計画書案の作成を担当者制として、全職員に取り組みせ知識、技術の向上を図っている。作成された介護計画書案を全職員の検討会議により現状に即した介護計画書が作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の健康チェックや活動の記録を個人日誌に記入している。その他必要なことは申し送りノートを活用し職員間で情報を共有しケアに反映している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>要望があった際には、出来るだけ早い段階で対応出来るよう取り組んでいる。又、併設のデイサービスとの交流も図っている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>防災訓練の際は、消防の方に情報提供や指導をお願いするようにしている。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>建物内の医療連携病院の他、ご本人ご家族が希望される時は、紹介状にて専門医の受診、支援も行っている。</p>	<p>入所に際し、連携病院からの往診のため、主治医の変更があるものの、かかりつけ医について希望があれば受診できる体制がある。急変等専門医の受診は職員で対応している。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>建物内に医療連携病院が併設されており看護師とは気軽に相談できる関係が出来ており、健康管理や医療面での相談・助言・対応を行ってもらっている。又、病院とは内線でつながっており連携も密にとれる体制が確保されている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には本人への支援方法に関する情報やかかりつけ医からの情報を提供し職員はお見舞いに行っている。又、ご家族とも情報交換しながら回復状況を把握しながら速やかな退院支援に結びつけている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期に向けた指針を作成し契約時に説明し同意を得ている。ご本人の意向確認が難しい時は、ご家族の意向をふまえ、主治医、職員が連携を図り安心して納得した最後を迎えられるよう終末ケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者、家族の意向により、終末期を迎えた利用者の支援を職員のほとんどが経験している。家族の付き添いを状態により、自由にさせていただいている。また、研修やマニュアルも備え支援体制ができている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>予想できる急変時の具体的な対応方法や応急手当、初期対応についてのマニュアルを整備している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防火訓練を行い、消火器、通報装置並びに避難経路の確認が出来るようにしている。</p>	<p>消防分団に加入して協力関係を構築しており、事業所での防災訓練も実施している。非常時には近隣の事業所が協力することになっている。また、非常食も2日分ほどは備蓄している。</p>	<p>消防署本部が参加、指導する防災、避難訓練を行い、利用者の避難誘導先やはしご車等の駐車場所などの打ち合わせを行い、非常時に備えることが望ましい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人の気持ちを優先にさりげなく自己決定しやすいよう言葉掛けを心掛けている。排泄時にはプライバシーを尊重するよう声掛け気配りに努めている。	利用者の自由度を高め、見守りやお手伝いをさせていて、という気持ちで利用者の尊厳やプライバシーを傷つけないような、声掛けや注意を払っている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人が思いを表出しやすいような働き掛けをしている。言葉だけにとらわれず、態度から見える訴えも見落とさないよう努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかな時間の流れのもと生活しているが、一人一人その時の体調や気分によって休息の場面を作るなど個々の生活ペースを重視した支援に努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行きつけの美容室へ行ったり、美容師の方が来訪され、ご自分の髪型にしてもらっている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は一緒に食べるようにしており、配膳、食事準備、片付け等、個々の力に応じて手伝って頂いている。買い物にも同行し好みのものをメニューに取り入れている。	身体状況に応じ、利用者も手伝っている。献立（朝と晩）は利用者と職員で話し合っ、その日のことをその日に決め、食材の買出しも一緒に行っている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ミキサー食、刻み等、個人の状態にあった食事形態の対応をしている。個々の食事摂取量も把握し十分な栄養、水分確保が出来るよう努めている。		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、歯磨きの声掛けを行い自分で出来ない部分は職員が介助し、個々に適した口腔ケア用品を用いて支援している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄時間と、排尿・排便の有無をチェックし、一人一人の排泄パターンを把握し、日中はパンツに尿取りパットで過ごしてもらうようにし排泄はトイレで行うよう指導している。</p>	<p>昼夜を通じ、布パンツとパット、リハビリパンツで過ごしていただいている。排泄チェック表で状況を把握し、トイレへの誘導を行い自然な排泄を促すよう取り組んでいる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表にて管理している。便秘による精神的不安、食欲低下を理解し、体操等の運動を取り入れたり水分摂取を促したり、主治医に相談したりしながら、個別に服薬での調整も行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本的に入浴曜日を決めているが、その日の利用者様の体調や状態希望を考慮して行っている。</p>	<p>入浴日、時間帯を設けているが、2時から5時ごろまでのフリータイム（レクリエーション・外出等希望に応じ対応）を活用し、希望があれば、いつでも入浴に応じている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人一人の状態や希望に合わせて昼間の休憩時間を設けたり、好きな時間、場所でくつろいで頂いている。就寝前はリビングでゆっくりテレビを観て楽しんだり、就寝前のリラックスした雰囲気作りを大切にしている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬についての目的や副作用、用法用量の確認に努め服薬している薬をファイルにとじ、職員が内容を共有している。服薬後の症状については主治医へ報告し調整してもらっている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>残存機能を活かし個々に適した役割を担って頂いている。好みに応じて書道や塗り絵、唱歌等を取り入れて楽しく生活して頂ける様支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>花見、初詣で、おくんち、ドライブ等の行事計画を立て外出の機会を作っている。天気の良い日は近隣への散歩に出かけ外気に触れる時間を大切にしている。</p>	<p>計画に基づく外出とフリータイムを活用した近くの公園での散歩や外国船入港などタイムリーな外出などの支援を行っている。初詣も恒例として護国神社参拝を実施している。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご自分で管理が難しい方が多く、自信でお金を使うことを殆どない、個人の預かり金を事業所で管理しており欲しい物、必要な物は購入出来るよう支援し、ご家族にも報告し確認をもらっている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>ご家族からの電話の取次ぎや本人からの訴え時には、いつでも連絡が取れるよう支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節や行事に応じて花を活け、季節を感じて頂いていると共に、共有空間の清掃や、温度、換気、採光にも配慮しながら心地よく過ごして頂ける様、工夫している。</p>	<p>四方に広窓があり採光も十分ある。市内中心部という立地のため車両の喧騒があるものの、利用者が周辺地区者ということで、この喧騒が心地いいようである。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関の入り口に椅子を置き、リビングにはソファを置いて皆がいつでも自由に使えるようになっている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談しながら出来る範囲で馴染みの家具を持ってきてもらうようにしている。鏡台や仏壇を持ち込んだりお気に入りの写真を飾るなどして居心地良い空間を作っている。	和室と洋室がある。利用者の好みの家具や調度品を配し、使い勝手が良い空間が作り上げられている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入り口には表札をかけたたり、トイレは分かりやすいよう便所と表示する等、工夫している。又、手摺り等も設置し安全で自立した生活が送れるよう支援している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3, 利用者の1/3くらいの
		4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない